



わたしの夢

川俣小学校6年

齋藤すみれ

たくさんの命を助ける

優しい獣医師になりたい

わたしの夢は、犬や猫など動物の命を助けることのできる獣医師になることです。私の家では、5年くらい前に保護センターから猫を猫を引き取りました。翌年にもう一匹、そして昨年は道路で弱っていた猫を家族が保護して今は3匹の猫が家族になりました。そんな猫が昨年体調を崩して動物病院に連れていったときに、優しく適切な処置をしてくださった獣医師の先生を見て、私もこのような獣医師になりたいと思うようになりました。獣医師という仕事は時には命に関するような手術を行うなど重大な責任があり大変な仕事だと思いますが、その分やりがいがありとても大切な仕事だと思います。そんな獣医師になるために昨年は飼育委員会に入り、ウコケイやカメの世話をしたり、どうしたら健康に過ごせるのかどんなご飯を食べるかなどを勉強したほか動物の本を読んだりして勉強しました。将来、獣医師になっていろいろな動物を助けるためにこれからも勉強を頑張りたいと思います。

町長のひとこと vol.25



今月はサロン「うごかしてみつ会」会長の神田きちいさんを訪ねました。小綱木の仲間集会所で毎月第1・第3の火曜日9時半から開催し、町の保健福祉課健康増進係が介護にならないための予防運動として進めている「ふまねつと体操」と「いきいき改善体操」を交互に行っているとのことでした。神田会長は、みんなで集まって「体動かしてみつかい」から、10名の会員でスタートし、「女性ばかりですが、楽しく体を動かします。介護のお世話にならないように集まればいろいろな話もできて楽しく元気になる。コロナ発生以前は、みんなで旅行にも出かけましたが、まだコロナが心配なので会員での食事会等は控えています」と話してくれました。いろいろと話した話題の中でタクシー利用券について出されたので、早急に検討することになりました。お話を聞かせていただきありがとうございました。